

風水害・土砂災害の基礎知識

● 雨の強さと降り方



やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に 10～20mm	1時間に 20～30mm	1時間に 30～50mm	1時間に 50～80mm	1時間に 80mm以上
ザーザーと降る雨。 地面一面に水たまりが でき、地面からの跳ね 返りで足元が濡れ、話 し声が聞き取りにくく なります。	どしゃ降りの雨。 傘をさしていても濡れ てしまうほどの雨で、側 溝や下水、小さな川が あふれる心配がありま す。	バケツをひっくり返し たような雨。道路が川 のようになり、山崩れ・ がけ崩れが起きやすくな るため、危険地帯では 避難の準備が必要にな ります。	滝のように降る雨。 河川の氾濫や土砂災害 が起きやすく、多くの 災害が発生するおそれ があります。車の運転 も危険です。	息苦しくなるような圧 迫感のある雨。雨によ る大規模な災害が発生 するおそれが強く、厳 重な警戒が必要となり ます。

● 風の強さと吹き方



やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風	
風速10～15m/s	風速15～20m/s	風速20～25m/s	風速25～30m/s	風速30m/s以上
風に向かって歩きにくくなり、樹木全体や電線が揺れ始めます。高速運転時は横風に流される感覚を受けます。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出ます。看板やトタン板が外れ始め、高所での作業は極めて危険です。	何かにつかまっていないと立っていただけません。通常速度による運転が困難になり、飛来物による負傷にも注意が必要となります。	根の張りが弱い木が倒れ始めます。屋根材や看板が落下・飛散し、道路標識が傾きます。	屋外での行動は極めて危険です。多くの樹木が倒れ、走行中のトラックが横転したり、倒壊する住宅も出てきます。

● 土砂災害を事前に予測するには？

雨に注意する

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。
1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

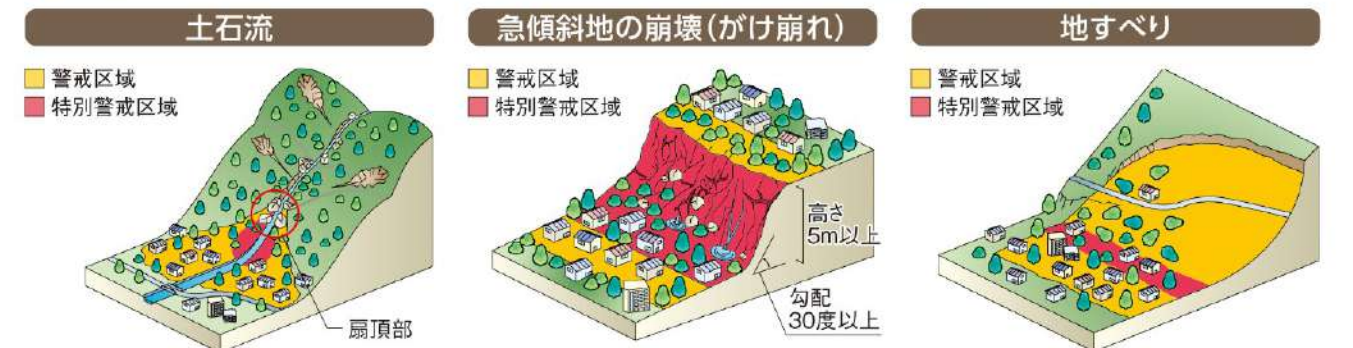
土砂災害警戒情報に注意する

「土砂災害警戒情報」とは、大雨による土砂災害発生危険度が高まった時、自治体が避難指示等を発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう、静岡県と気象台が共同で発表する防災情報です。早期避難の判断に役立ててください。

● 土砂災害のここに注意！

土砂災害とは、がけ崩れ、土石流、地すべりのことをいい、勾配の急な山やがけ、渓流のある地域に発生します。土砂災害のほとんどは、雨や地震に起因して突然発生します。特に長雨や大雨の場合は、大量の水分が地中にしみ込み、その量が多いほど斜面の土が弱くなり、災害の発生する可能性が高くなります。このため、災害が発生するおそれのある区域をあらかじめ把握し、大雨などの際には気象情報の収集を行い、身の危険を感じたら早めの避難を心がけてください。

土砂災害の種類と前ぶれ現象



土石流等が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象
雨や地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象
雨水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象

土石流の前ぶれ現象	急傾斜地の崩壊の前ぶれ現象	地すべりの前ぶれ現象
- 流水の異常な濁り - 流木が発生 - 渓流内の転石の音 - 降雨時での水位の激減 - 地鳴り・ゴーという音 - 土臭いにおい	- 湧水量の増加 - 表面流発生 - 小石がばらばら落下 - 湧水の濁り - 新たな湧水発生 - 小石がぼろぼろ落下 - 湧水の停止・噴き出し - 亀裂発生、斜面のせり出し	- 湧水量の増加 - 湧水の枯渇 - 井戸水のにごり - 亀裂・段差の発生・拡大 - 斜面・構造物のせり出し - 樹木の傾き、根の切れる音 - 山鳴り・地鳴り - 地面の振動

逃げ方を覚えましょう

土石流からの逃げ方

土石流は速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。
土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



がけ崩れからの逃げ方

がけ崩れは一瞬で起こるため、早期避難の判断が重要です。
緊急時には、がけの高さの2倍以上の距離に逃げたり、室内の安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。



土砂災害防止法に基づく区域指定

伊東市内には、土砂災害(特別)警戒区域が369箇所あります。これらの区域は平成20年度から、土砂災害防止法[※]に基づき静岡県が指定しており、区域内では次の措置がとられます。

※土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

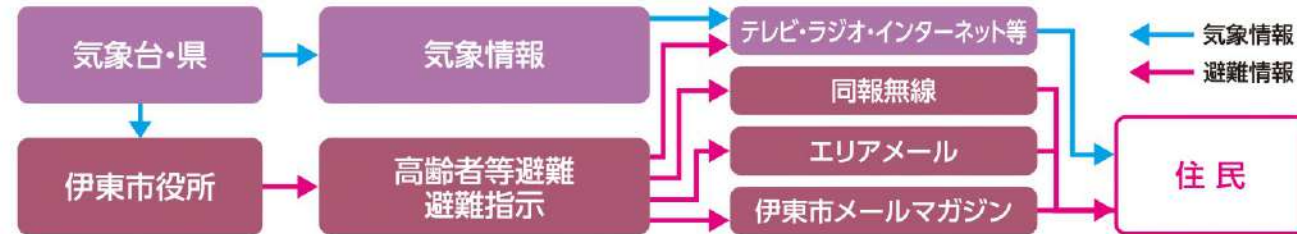
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

風水害・土砂災害の災害情報

災害情報の伝達

災害情報は右のような伝達経路にて住民のみなさんに伝えられます。情報の入手先をしっかりと確認しておきましょう。



避難警戒レベルに注意

風水害の発生が予想される場合、状況に応じて下記の警戒レベルが発令されます。地域の方々にも声をかけながら、それぞれの警戒レベルに合わせてしっかりと行動しましょう。

気象状況	警戒レベル	気象庁等の情報	市町村の対応	住民がとるべき行動
数十年に一度の大雨	5	大雨特別警報 キキクル：災害切迫	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保してください。
↑ 大雨の数時間～2時間程度前	警戒レベル4までに必ず避難！			
	4	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報 キキクル：危険	避難指示	危険な場所から全員避難 災害が想定されている区域等では、自治体からの避難指示の発令に留意するとともに、避難指示が発令されていなくてもキキクル(危険度分布)や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。
	3	大雨警報 洪水警報 高潮警報に切り替える可能性が高い注意報 キキクル：警戒 氾濫警戒情報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 災害が想定されている区域等では、自治体からの高齢者等避難の発令に留意するとともに、高齢者等以外の方も普段の行動を見合わせ始めたり、キキクル(危険度分布)や河川の水位情報等を用いて避難の準備をしたり自ら避難の判断をしたりしてください。
↑ 大雨の半日～数時間前	2	大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 キキクル：注意	QRコード キキクル(危険度分布)は気象庁HPから確認できます。	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。
↑ 大雨の数日～約1日前	1	早期注意情報(警報級の可能性)		災害への心構えを高める 最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めてください。

記録的短時間大雨情報とは

現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを知らせるもの。
(伊東市 基準値 1時間 110mm 令和6年5月23日現在)

線状降水帯について

線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなし数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、長さ50～300km程度、幅20～50km程度の線状に伸びる強い降水域を線状降水帯といいます。線状降水帯による顕著な大雨によって、毎年のように数多くの甚大な災害が生じています。発生メカニズムに未解明な点も多く、今後も継続的な研究が必要不可欠です。

予測困難な線状降水帯

令和6年6月28日の事例

【気象の概況】

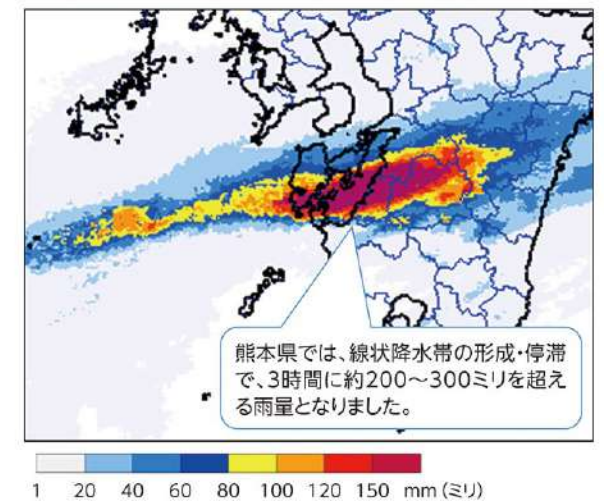
梅雨前線が本州付近に停滞し、6月27日から28日にかけて前線の活動が活発となった影響で、西日本から東日本では太平洋側を中心に雷を伴った大雨となった。

【線状降水帯に関する情報の発表状況】

- 山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県では、6月27日の気象情報にて、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施した。
- 6月28日に静岡県を対象に顕著な大雨に関する気象情報を発表した。

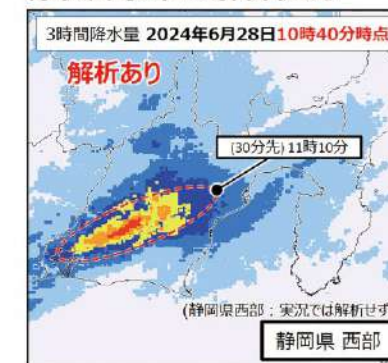
府県予報区	半日程度前からの呼びかけ	顕著な大雨に関する気象情報	3時間降水量の最大値
山口県	6月27日10時44分	なし	約80mm
福岡県	6月27日10時44分	なし	約45mm
佐賀県	6月27日10時44分	なし	約25mm
長崎県	6月27日10時44分	なし	約100mm
熊本県	6月27日10時44分	なし	約100mm
大分県	6月27日10時44分	なし	約60mm
静岡県	なし	6月28日10時47分(西部) 6月28日11時17分(中部、西部)	約140mm 約140mm

令和2年7月4日6時までの3時間雨量(解析雨量)

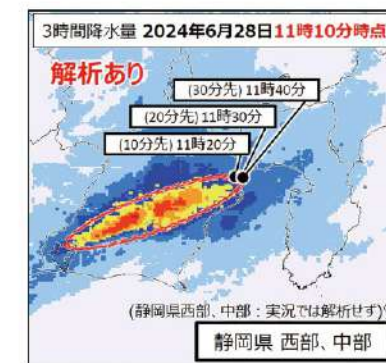


1 20 40 60 80 100 120 150 mm(ミリ)

線状降水帯の解析状況

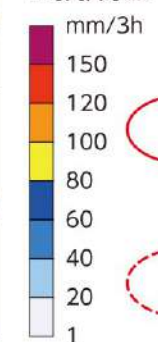


線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値は約140mm

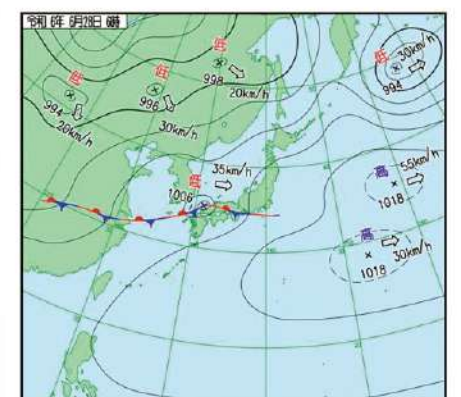


線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値は約140mm

3時間降水量



28日午前6時時点の天気図



大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域(現在の時刻の解析)

大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域(10～30分先の解析)

上記の事例では、気象庁は九州北部に線状降水帯が発生することを予測し「線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ」を発表しましたが、実際に線状降水帯が発生し「顕著な大雨に関する情報」が発表されたのは静岡県でした。このように、現状の観測・予測技術では線状降水帯を正確に予測することは困難であるため、「線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ」が発表されなくても、その他の防災気象情報を組み合わせて避難の判断をすることが大切です。

風水害・土砂災害時の避難行動

●避難の心得

気象情報、災害情報、避難情報をこまめにチェックし、早めの避難を判断しましょう。夜間の避難はなるべく避け、昼間のうちに避難するようにしましょう。また避難時は慌てず、近所の方にも声をかけて複数人で避難しましょう。

避難する前に



ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とし火事などの二次被害を防ぎましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

呼びかけに注意



伊東市や消防署、消防団または警察署からの避難の呼びかけに注意しましょう。呼びかけがあった場合は指示に従い危険な場所から速やかに避難してください。

避難所を確認



避難所を確認し、途中で家族が離れればなれになったときの集合場所も決めておきましょう。

浸水したらすぐ外へ!



車の水深が約30cm前後に達すると、エンジンが停止する可能性があります。車が浸水した場合は、すぐに外へ出ましょう。

安全な避難



浸水があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、がけ地などでは土砂災害のおそれがあるので注意しましょう。

避難に遅れたら



万一、避難に遅れ危険が迫った時には、自宅の安全な場所か近くの頑丈な建物の安全な場所に急いで逃げましょう。

●避難の方法

2人以上で避難



できるだけ1人の避難は避けましょう。また、子どもからは目を離さないようにしましょう。

助け合って避難を



子どもや高齢者、病气の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。

避難はなるべく徒歩で



車での避難は、緊急車両通行の妨げや交通渋滞を招くほか、浸水により動けなくなるおそれもあります。

! 浸水時の歩行に注意!

浸水した場合、水の流れがなくても歩ける深さの目安は、ひざ下(約30cm)くらいまでです。水の深さがひざ上まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理せず、高い場所で救助を待ちましょう。

●自主避難～危険を感じたらすぐ避難～

災害が差し迫った場合、各自の落ち着いた避難行動が大切です。

特に最近の全国各地に見られる局地的豪雨のような突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。身の危険を感じたら行政からの情報を待たずに、自らの判断で避難行動を開始してください。

分散避難について

避難所が開設された場合、状況として普段よりも3密(密閉・密集・密接)の状態に近く、感染症へのリスクが高くなります。「避難」とは「難」を「避ける」ことであり、分散避難が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。まずはご自身の住んでいる場所の災害リスクを確認して、避難が必要であるか判断しましょう。

「分散避難」とは、災害時に、自宅の2階や近隣宅、車内で待機するなど避難所以外へ避難することにより、3密を防止し、感染症による2次災害を防ぐための避難方法です。また、自宅が危険な場合も、避難先は行政が開設する避難所だけではありません。指定避難所は本来「自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、避難生活を送るための施設」であるため、指定避難所が過密状態になることを防ぐためにも、「避難所」への避難以外に、「親戚・知人宅」「ホテル」「在宅避難」「車中泊」などさまざまな避難先に、地域の人たちが分散して避難することが大切です。

1

自分が住んでいる場所が「避難の必要がある場所か」災害リスクを確認する。

2

「親戚・知人宅」等への避難が可能か確認する。

3

「避難所には感染拡大のリスクがある」ことを再認識し、非常持ち出し品・感染防止物品(マスク、消毒液、除菌シート、体温計等)を準備し、安全確実に避難する。

●命を守る避難行動

避難行動は、安全の確保を第一に考え、危険が迫る場合には事前に自宅以外の場所へ避難する「水平避難」が大切ですが、止むをえず命を守る行動「垂直避難」が必要な場合もあります。



垂直避難が必要な場面

- ・夜間や急激な降雨で避難路上の危険が分かりにくい
- ・ひざ上まで浸水している(30cm以上)
- ・浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い 等

上記の場合は、水平避難の行動は危険です。建物倒壊の危険がないと判断できる場合は、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急に一時避難(垂直避難)し、救助を待つことも検討しましょう。

●洪水発生時における避難フロー

洪水発生時の避難は、タイミングや災害の進展状況によって、一律に市の指定避難所に避難すれば良いというものではありません。洪水発生をイメージして、自分が避難すべき場所やタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。

洪水発生

- 浸水想定区域・浸水深の確認
- 避難先の確保(危険な区域外の親戚、知人に事前の依頼)
- 避難経路の確認

大雨警報や河川水位の情報、市から発令される避難情報を収集(p.53参照)

危険な区域外へ避難

浸水前の早い段階で浸水想定区域外に避難することが最も安全

水平避難



緊急安全確保

- 自宅の2階以上
- 近くの堅牢な建物の2階以上の上層階

垂直避難



避難所一覧

避難所

番号	名 称	所在地	避難可能 人数
1	宇佐美保育園	宇佐美610-20	160
2	宇佐美幼稚園	宇佐美1602-2	80
3	宇佐美コミュニティセンター	宇佐美1645-6	180
4	湯川区民会館	湯川二丁目2-2	130
5	伊東幼稚園湯川分園	湯川二丁目11-30	70
6	伊東市児童・身体障害者福祉センター(はばたき)	松原622-12	70
7	松原消防会館	松原本町11-10	100
8	松原温泉会館	松原本町13-3	150
9	伊東ふれあいセンター	松川町5-10	100
10	観光会館別館	渚町6-16	110
11	伊東市民体育センター	玖須美元和田716-115	500
12	富士見保育園	玖須美元和田716-129	140
13	さくら園	玖須美元和田716-509	40
14	南幼稚園富士見分園	玖須美元和田729-1	130
15	玖須美児童館	和田一丁目4-10	50
16	観光会館	和田一丁目16-1	160
17	玖須美消防会館	和田二丁目1-1	40
18	玖須美保育園	和田二丁目1-28	170
19	玖須美温泉会館	芝町2-3	100
20	伊東市役所	大原二丁目1-1	70
21	大原武道場	大原二丁目2-6	160
22	和田湯会館	竹の内二丁目7-24	110
23	新井区民会館	新井一丁目9-10	60
24	鎌田幼稚園	岡66-1	90
25	旧旭小学校	岡1270-1	150
26	伊東温泉競輪場	岡1280	150
27	伊東幼稚園	桜木町一丁目1-17	100
28	生涯学習センター ひぐらし会館	桜木町一丁目1-17	140

番号	名 称	所在地	避難可能 人数
29	岡温泉会館	桜木町二丁目2-16	50
30	広野保育園	広野三丁目3-28	90
31	竹の台幼稚園	竹の台3-11	80
32	生涯学習センター 中央会館	音無町5-14	400
33	本郷会館	湯田町1-1	50
34	鎌田消防会館	鎌田752-2	10
35	鎌田会館	宮川町一丁目2-16	60
36	川奈幼稚園	川奈878-1	60
37	川奈消防会館	川奈939-1	30
38	南幼稚園	川奈1190-3	100
39	小室コミュニティセンター	川奈1322-2	120
40	千歳会館	吉田231-1	20
41	吉田区民会館	吉田571-2	150
42	養護老人ホーム	吉田825-1	60
43	吉田幼稚園	吉田452	70
44	荻幼稚園	荻18-1	120
45	生涯学習センター荻会館	荻226-1	50
46	荻区民会館	荻597-6	130
47	十足延命館	十足536-1	10
48	十足区民会館	十足595-1	30
49	老人憩いの家城ヶ崎荘	富戸911-115	80
50	富戸幼稚園	富戸594	70
51	富戸コミュニティセンター	富戸594	160
52	八幡野幼稚園	八幡野1189-55	90
53	八幡野コミュニティセンター	八幡野1189-172	180
54	池幼稚園	池469-4	30
55	生涯学習センター池会館	池475-2	70
56	生涯学習センター赤沢会館	赤沢60-1	70

福祉避難所

※福祉避難所は、支援が必要な方が事前に施設と受入調整した上で避難する避難所です。

番号	名 称	所 在 地
1	特別養護老人ホーム うさみの園	宇佐美2403-1
2	特別養護老人ホーム 伊豆の瞳	吉田821-19
3	特別養護老人ホーム 伊豆の瞳プラス	吉田821-19
4	障害者支援施設 碧の園	荻578-3
5	特別養護老人ホーム 奥野苑	荻772-1
6	特別養護老人ホーム 城ヶ崎いこいの園	富戸1219-5
7	埼玉県社会福祉保健施設 伊豆潮風館	富戸1317-89
8	特別養護老人ホーム 伊豆高原十字の園	八幡野1028-4
9	介護付有料老人ホーム 伊豆高原ゆうゆうの里	八幡野1027

指定緊急避難場所(広域避難場所)

番 号	名 称	所 在 地	避難可能人数		災害種別ごとの適否						
			施設内	屋外	地震	津波	高潮	洪水	土砂災害	火山	大火事
1	宇佐美小学校	宇佐美1627-1	410	4,300	○	×	○	×	○	×	○
2	宇佐美中学校	宇佐美1537-1	470	3,000	○	○	○	×	○	×	○
3	北中学校	湯川360-1	370	5,500	○	○	○	○	×	×	○
4	伊東公園	湯川270-1	－	2,000	○	○	○	○	×	×	○
5	南小学校	玖須美元和田716-87	330	6,000	○	○	○	○	○	×	○
6	市民運動場	玖須美元和田716-115	－	10,000	○	○	○	○	○	×	○
7	南中学校	玖須美元和田729-1	790	12,500	○	○	○	○	○	×	○
8	伊東小学校	大原二丁目2-6	500	4,500	○	○	○	○	○	×	○
9	旧西小学校	幸町1-5	400	4,000	○	×	○	×	○	×	○
10	門野中学校	鎌田1281-63	400	8,500	○	○	○	○	○	×	○
11	旧川奈小学校	川奈1083-1	190	3,000	○	○	○	○	×	×	○
12	伊豆伊東高等学校	吉田748-1	700	14,500	○	○	○	○	○	×	○
13	大池小学校	吉田824-4	210	3,500	○	○	○	○	○	×	○
14	十足広場	十足536-1	－	2,500	○	○	○	○	○	○	○
15	富戸小学校	富戸1203-1	200	8,500	○	○	○	○	×	○	○
16	富戸公園	富戸892-43	－	2,500	○	○	○	○	○	○	○
17	八幡野小学校	八幡野976-1	340	2,000	○	○	○	○	○	○	○
18	対島中学校	八幡野1128-3	380	3,700	○	○	○	○	○	○	○
19	旧伊東高等学校城ヶ崎分校	八幡野1120	840	7,200	○	○	○	○	○	○	○
20	池小学校	池477-2	210	2,000	○	○	○	○	×	○	○
21	浮山広場	赤沢173-1	－	300	○	○	○	○	○	○	○

地震への備え

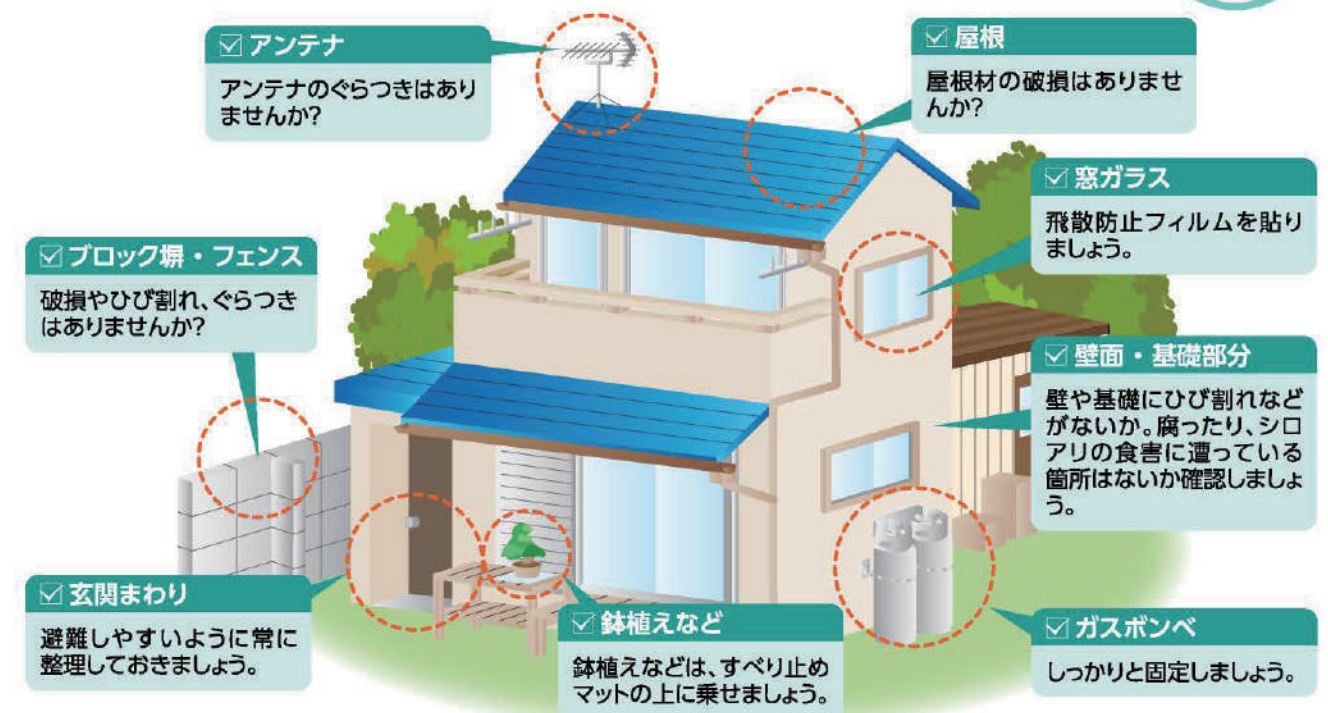
● わが家の地震対策チェック

● 屋外の地震対策

地震による被害を減らすために自宅の安全対策についても点検しましょう。
住宅の耐震性に不安がある場合は、耐震診断*を行い補強等を実施するようにしましょう。

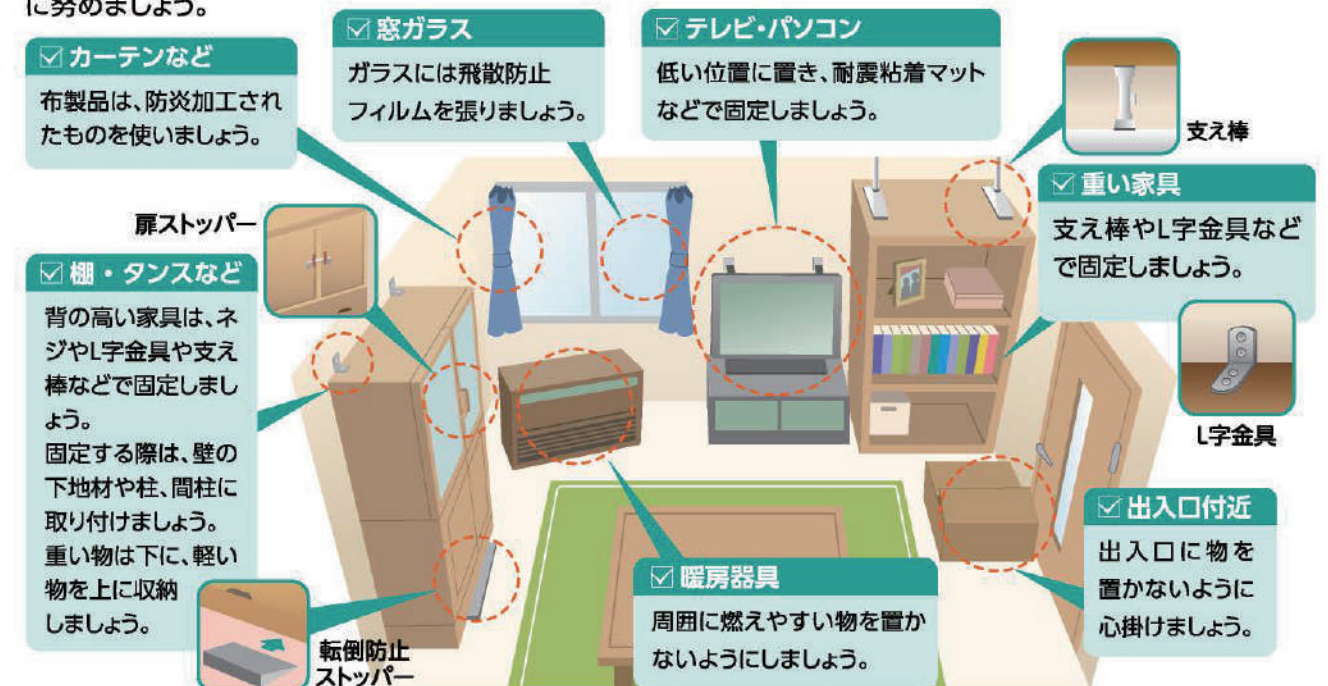
※1981(昭和56)年5月31日以前に建てられた住宅は耐震性が低いおそれがあります。
該当する建物には、無料で耐震診断を受けられる支援があります。

TOUKAI-0



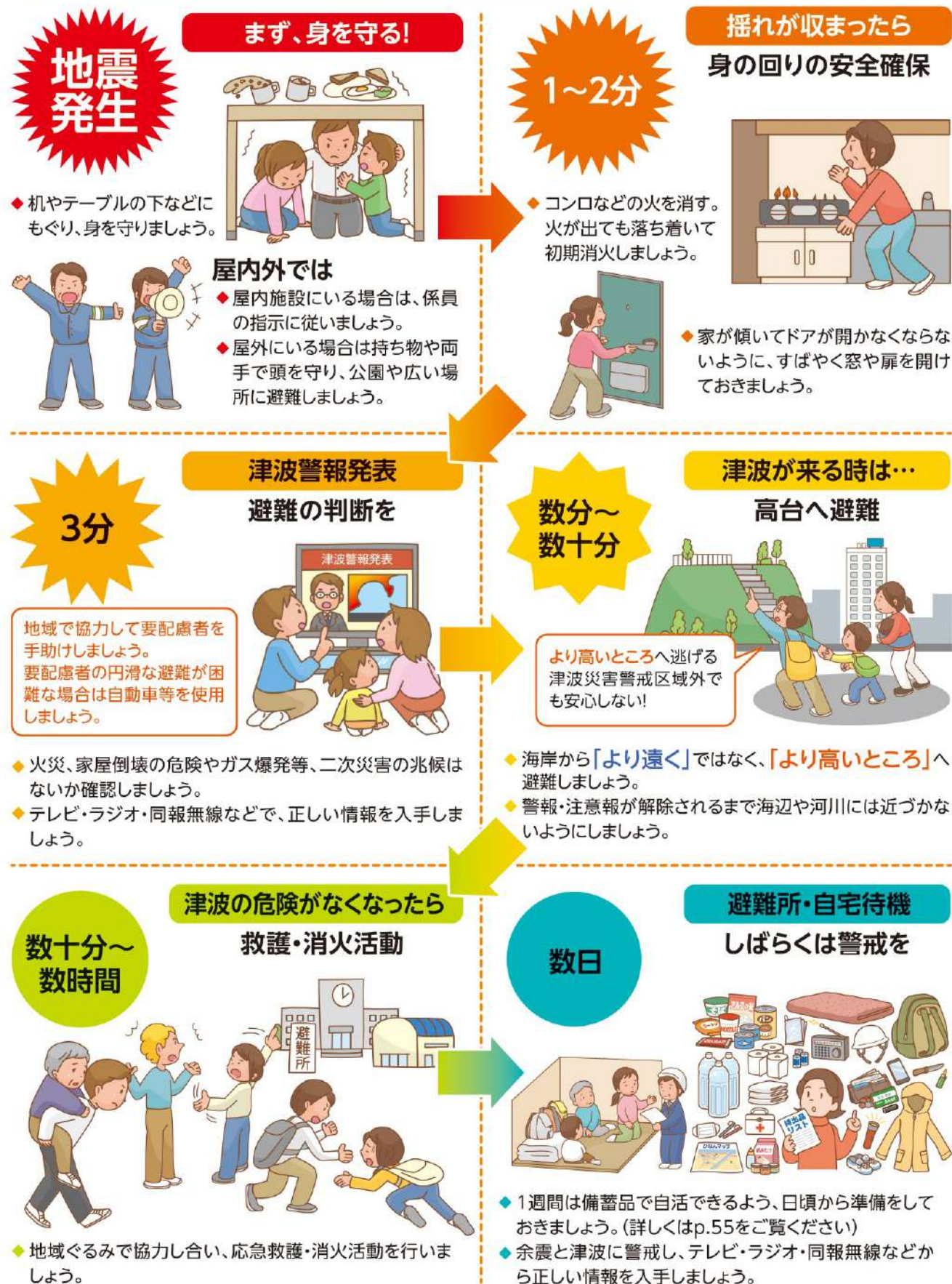
● 屋内の地震対策

地震時のケガの原因は家具などの転倒によるものも多く、室内の散乱は逃げ遅れの原因にもつながります。
寝室にはタンスなどの重たいものを置かないなどの家具の配置の見直しや、家具を固定するなどの安全対策に努めましょう。



地震発生時の行動

地震発生からのタイムライン



地震の震度と揺れ方

出典：気象庁



震度5弱以上の揺れが予測された場合、全国瞬時警報システム(J-ALERT)により緊急地震速報が流れます。

もし、外出中に地震が起きたら…

自動車運転中は…



- 1 ハザードランプを点灯し、周りの車に注意をうながす。
- 2 急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落とし、道路の左によせて停車。
- 3 車から離れるときは、鍵をつけてロックはしない。

鉄道・バスでは…



- 1 つり革、手すりにしっかりとつかまる。
- 2 勝手に車外に飛び出さない。
- 3 乗務員の指示に従う。

津波が襲ってきそうな所にいたら…



- 1 速やかに高いところへ避難する。
- 2 警報、注意報が解除されるまで海辺や河川には近づかない。

エレベーターでは…



- 1 最寄りの階に停止させ、すぐに降りる。
- 2 万一閉じ込められたら、エレベーターの中の状態をインターホンで通報する。

南海トラフ地震・相模トラフ地震

● 南海トラフ地震と相模トラフ地震の違い

● 南海トラフと相模トラフの位置関係



伊東市に大きな影響を与えることが予想されている地震源は「南海トラフ(駿河湾から日向灘沖まで続く)」「相模トラフ(相模湾から関東南沖に続く)」があります。

南海トラフにおいては、想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲を監視領域としています。

南海トラフ地震の想定震源域
監視領域

● 南海トラフ地震・相模トラフ地震 被害想定等比較表

震源	南海トラフ(東海地震など)		相模トラフ(神奈川県西部)		
想定地震	レベル1	レベル2	レベル1	レベル2	
想定地震	昭和南海地震	最大クラス	大正型関東地震(関東大震災)	元禄型関東地震	最大クラス
想定地震	8.0～8.7	9.0程度	8.2	8.5	8.7
市内震度面積割合	4以下: 0% 5弱: 0.5% 5強: 51.0% 6弱: 48.5% 6強: 0%	4以下: 0% 5弱: 0% 5強: 17.1% 6弱: 82.9% 6強: 0%	4以下: 0% 5弱: 1.4% 5強: 85.5% 6弱: 13.1% 6強: 0%	4以下: 0% 5弱: 1.4% 5強: 85.5% 6弱: 13.1% 6強: 0%	4以下: 0% 5弱: 0.1% 5強: 47.4% 6弱: 52.4% 6強: 0.1%
最大津波高	3m	10m	9m	11m	17m
最短津波到達時間	約19分	約16分	約3分		
死者数	10人	200人	1,400人	2,800人	
重傷者数	30人	100人	200人	400人	
軽傷者数	400人	600人	900人	1,800人	

(平成25年6月静岡県公表「静岡県第4次地震被害想定」より伊東市に関する事項を抜粋)

● 南海トラフ地震・相模トラフ地震 発生確率比較表

震源域	地震名	地震規模(マグニチュード)	30年以内発生確率
南海トラフ	南海トラフ地震	8～9クラス	80%程度
相模トラフ	相模トラフ沿いのM8クラスの地震	8クラス(7.9～8.6)	ほぼ0%～6%
	プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震	7程度(6.7～7.3)	70%程度

(令和7年1月地震調査研究推進本部公表「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」より抜粋)

○地震の発生確率については、毎年、地震調査研究推進本部(政府)が更新しております。

○房総半島南部にある海岸段丘の沼面を形成する地震(元禄関東地震に相当かそれ以上)の平均発生間隔は約2,300年で、今後30年以内の発生確率はほぼ0%とされております。

● 南海トラフ地震臨時情報

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合、地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。情報名の後にキーワードが付記され「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」等の形で発表されます。

気象庁において、マグニチュード6.8以上の地震等の異常な現象を観測した後5～30分後に南海トラフ地震臨時情報(調査中)が発表されます。その後、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」における調査結果を受けて、該当するキーワードを付した臨時情報が発表されます。

政府や自治体から、キーワードに応じた防災対応が呼びかけられますので、呼びかけの内容に応じた防災対応をとってください。

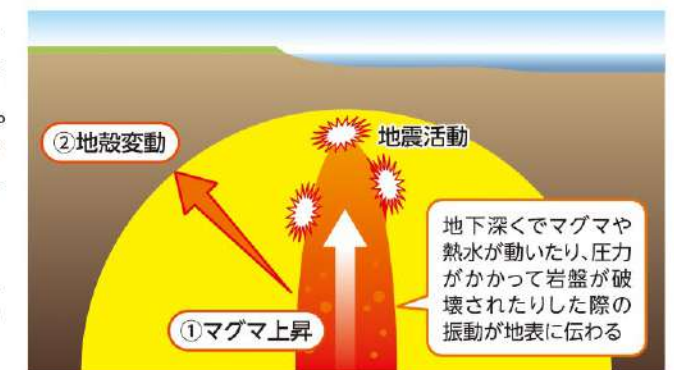
キーワード	発表の条件	発表された場合の住民の行動
調査中	■観測された異常な現象が監視領域の大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合	続報に注意しつつ、地震への備えについて確認しておきましょう。
巨大地震警戒	■監視領域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合	自宅の耐震性能や避難行動等に不安がある場合には、事前の避難を検討しましょう。一週間程度は警戒を続けてください。
巨大地震注意	■監視領域内のプレート境界においてM7.0以上、M8.0未満の地震が発生したと評価した場合 ■監視領域のプレート境界以外や、監視領域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生したと評価した場合 ■ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合	日頃からの地震への備えを再度確認し、地震が発生したらすぐに逃げられるよう準備をしておきましょう。一週間程度は警戒を続けてください。
調査終了	■巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合	大規模地震発生の可能性が無くなったわけではないことを留意しながら、通常の生活に戻りましょう。

● 火山性地震について

火山性地震とは、火山体またはその周辺で発生する地震のことです。地中のマグマの動きや、熱水の活動等に関連して発生するものや、噴火に伴うものもあります。

火山性地震の特徴として、前震、本震、余震の区別がはっきりせず、特定の地域及び時期に集中的に発生する「群発地震」であることが挙げられます。

伊豆東部火山群では、火山活動が活性化すると多く発生する傾向があり、大きな揺れが起こる場合もあります。



災害豆知識

● 感震ブレーカーを設置しよう

感震ブレーカーとは、大規模な地震が発生した際、ブレーカーを自動的に落として電気を遮断し、停電復旧時に発生する通電火災を防ぐ機器です。

東日本大震災により発生した火災のうち、出火原因が特定されたものの約6割が電気関係によるものでした。



津波の基礎知識

●津波警報について

沿岸の海域で地震が発生し、津波による災害が予想された場合、地震発生後およそ3分で警報及び注意報が発表されます。警報・注意報が発表された場合は、より高いところへ避難しましょう。

	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や津波避難協力ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1m超え、3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や津波避難協力ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m超え、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m<予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、小型船舶が転覆します。海の中にいる人は直ちに海から上がって、海岸から離れてください。

※気象庁ホームページより引用・修正

●津波の注意点

津波は繰り返し来る!



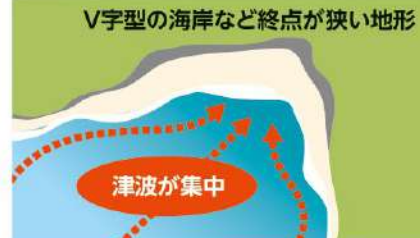
津波は2波、3波と繰り返し襲ってきます。警報・注意報が解除されるまでは避難していきましょう。

津波のスピードは速い!



警報・注意報が出る前に来る津波もあり、津波の速度は海岸付近で時速36km(秒速10m)程度になります。

津波の高さに注意!



海岸の地形などによって予想された津波の高さを超える津波が発生する場合があります。

引き潮がなくても注意!



津波の前に必ず引き潮があるとは限りません。地震の起こり方や地形によっては引き潮が起こらない場合もあります。

満潮時は要注意!



満潮時は水位が高くなっているの、津波がより大きくなります。

弱い地震でも要注意!



弱い地震でも揺れが長く続いた時などは津波が襲ってくる可能性があります。

●伊東市の様々な津波対策

津波避難協力ビル

伊東市では、津波災害警戒区域外への避難が困難な避難者が、緊急に避難する建物として、現在38箇所の建物を「津波避難協力ビル」として指定しています。

これらのビルの壁面には、視覚的に分かりやすいようにステッカーを標示しております。

また、津波避難協力ビルの位置は、後掲の津波ハザードマップにも掲載されています。

津波警報が発表された際に速やかに避難できるように、事前に津波避難協力ビルの位置を確認しておきましょう。



津波避難協力ビル



津波避難協力ビルステッカー

津波避難救命艇

伊東港周辺の津波対策として、津波避難救命艇(定員25人)が設置されています。

津波避難救命艇の外装は厚いクッション材で保護されており、津波に巻き込まれてガレキに衝突しても破壊や転覆しないように設計されています。また、海に流された場合も救助を待てるように食料、水、無線機等を備えています。

津波災害警戒区域外への避難が困難であると判断した場合には、津波避難救命艇を使用しましょう。



災害豆知識

津波避難施設は、津波の時に本当に使えるの?

津波避難協力ビル・津波避難救命艇が地震や津波の際に本当に機能するのは、誰もが心配になるところですね。

一部の津波避難協力ビル(※)・津波避難救命艇には、施設の鍵が収納された「地震解錠ボックス」が設置されており、設定された震度以上の揺れを感知した場合には、自動で解錠される仕組みになっています。

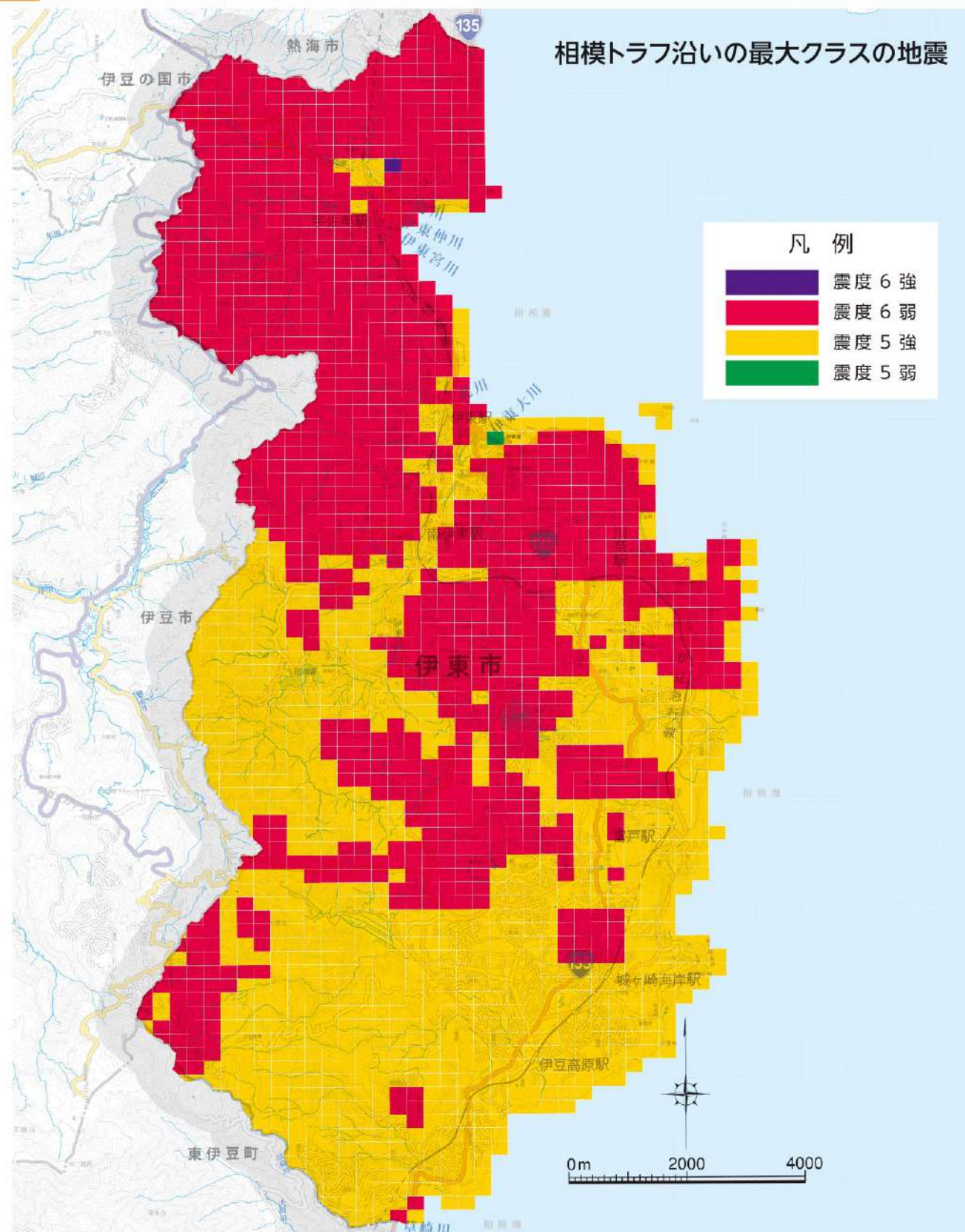
これらは電気・電池に頼らず機能する仕組みになっており、停電が起こった場合にも確実に使用できる対策がとられています。



地震解錠ボックス

※外階段がある又は職員等が24時間常駐している施設には設置されていません。

震度分布図



液状化現象とは

地下水位が高く、緩い砂質で構成される地盤では、地震後に液状化という現象が起きます。液状化が発生すると、マンホールや貯水槽が押し上げられ、緊ぎ目が破損したり、地盤沈下により建物が傾いたりすることがあります。

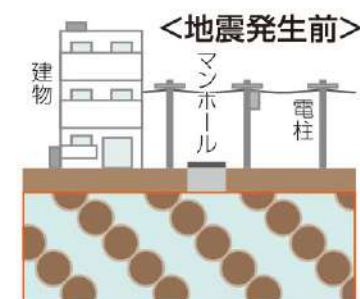
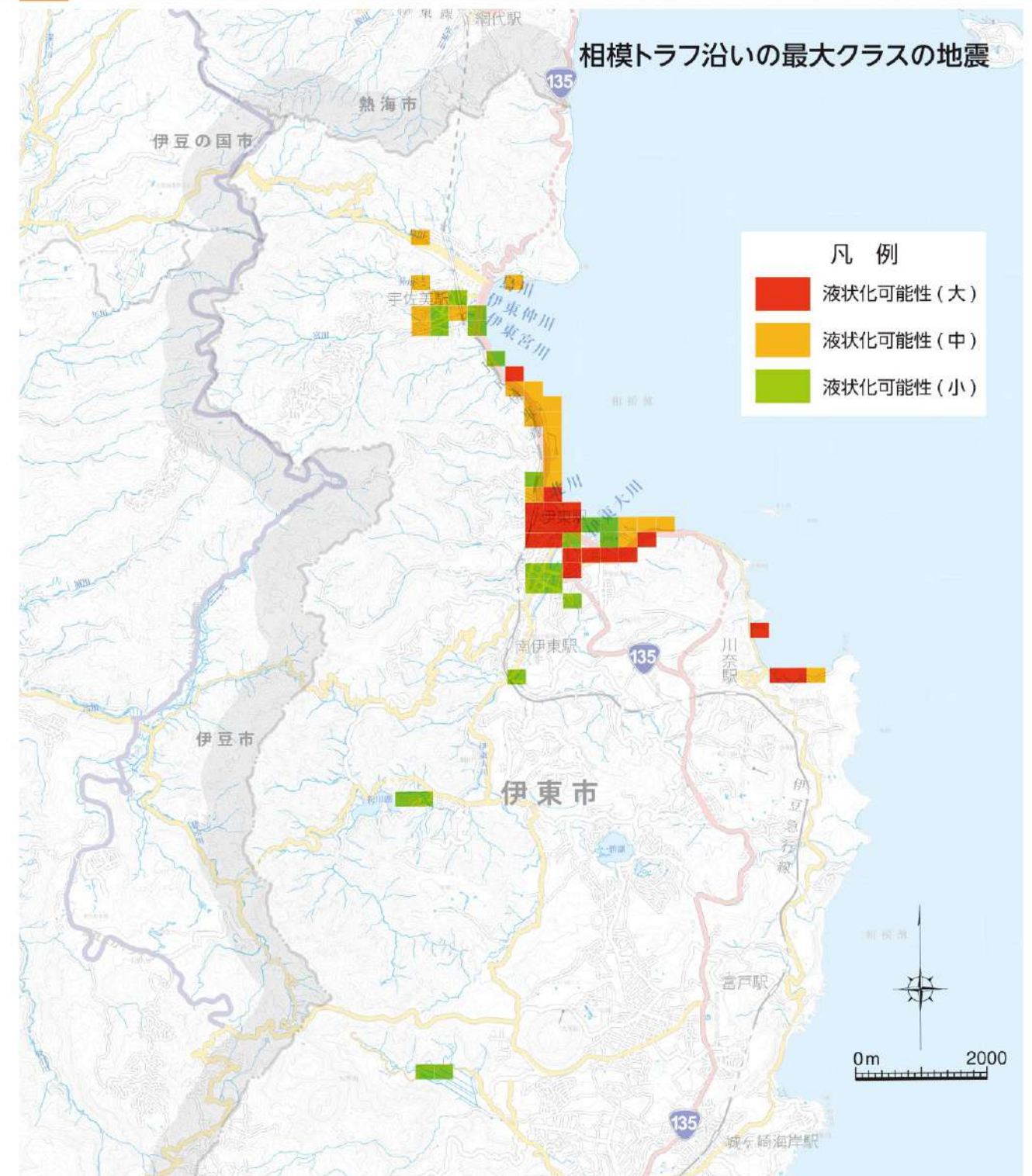


押し上げられたマンホール

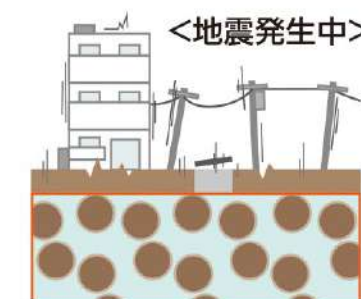


地盤沈下により傾いた交番

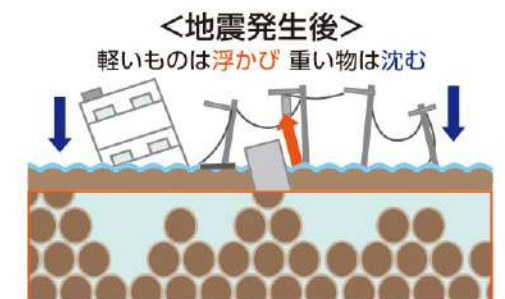
液状化可能性分布図



地盤の隙間に水をたくさん含みながらも砂の粒子同士が接触し建物を支えています。



地震の震動により、砂の粒子がバラバラになり、水に浮いた状態になります。



砂粒が沈み、地面から水や泥水がせり上がり、地盤が建物を支えられなくなります。

火山災害に備える

伊豆東部火山群の火山・地震活動



約4,000年前の噴火によって形成された大室山

- ▲伊豆東部火山群では、地下のマグマ活動に関連した活発な群発地震が発生することがあり、そのマグマが地表のごく浅部まで上昇すると噴火することがあります。
- ▲気象庁は、伊豆東部で群発的な地震活動が発生した際に「伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報」を発表します。
- ▲噴火の可能性が高まった場合、状況に応じて「火山の状況に関する解説情報」、「火山の状況に関する解説情報（臨時）」、「噴火警報（噴火警戒レベル4または5）」を発表します。
- ▲周辺の海域には、火山現象に関する海上警報を発表します。
- ▲「地震活動の見通しに関する情報」と「噴火警戒レベル」を活用して、適切な防災対応をお願いします。（火山災害からの避難についてはp.47～48を参照してください）

噴火の影響が及ぶ可能性のある範囲



- ▲「海上や陸上に影響を及ぼす噴火が発生する可能性のある範囲」からおおむね3.0kmから3.5kmの範囲を「噴火の影響が及ぶ可能性のある範囲」として赤の点線で表示しました。
- ▲実際の噴火の影響範囲は噴火地点により異なります。赤い点線の範囲全体が必ずしも同時に危険になるわけではありませんが、詳細な火口位置が特定できない場合は、範囲全体を避難対象とすることがあります。

噴火による現象

伊豆東部火山群では、マグマが直接火口から放出される「マグマ噴火」と、マグマが海水や地下水等と接触し、大量の水蒸気が発生することで起こる「マグマ水蒸気噴火」が想定されています。

噴石の飛散や火砕流、溶岩流、降灰による土石流の他、「マグマ水蒸気噴火」では、火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がる「ベースサージ」の発生にも備える必要があります。

伊豆東部火山群の噴火警戒レベル

予報 警報	噴火警戒レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動	想定される現象等
噴火警報	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	▲マグマ水蒸気爆発の発生により大きな噴石、ベースサージが居住地域に到達する。 ▲低周波地震や火山性微動の多発、顕著な火山性微動の発生。 過去事例 1989年7月11日の低周波地震の多発、顕著な火山性微動の発生、7月13日の海底噴火。
	レベル4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要。	▲低周波地震や火山性微動の増加、継続時間の長い火山性微動の発生。顕著な地殻変動。 過去事例 1989年7月10日の低周波地震の増加、1995年10月4日の継続時間の長い火山性微動の発生、低周波地震の増加。
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。危険な地域への立入規制等。	レベル2,3の発表について ●活動が活発化すると噴火の可能性が高まっていく段階では、レベル2,3の発表はなく、レベル4以上が発表されます。 ●活動が沈静化するとき火山活動が沈静化し、レベル5からレベルを下げる段階で、火山活動の状況に応じてレベル2,3を発表する場合があります。
	レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。	
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意) 地震活動の見通しに関する情報の発表	火山活動は静穏。 地下深部のマグマ活動により、活発な群発地震が発生することがある。	住民は通常の生活。 危険な場所を避けたり、家具を固定するなど、大きな揺れに対する対策が必要。	▲火山活動は静穏。 ▲活発な群発地震により、最大震度5弱～6弱程度の大きな揺れとなることがある。 過去事例 1997年3月、1998年4～6月、2006年4月、2009年12月の群発地震等。

注1) ここでいう「大きな噴石」とは、主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散するものとします。

注2) 噴火警報(噴火警戒レベル4(高齢者等避難)、5(避難))は、特別警報に位置付けられています。

注3) 火山活動の状況によっては早めに避難情報が発表になる場合があります。

火山防災情報に対し市から発令される避難情報等

火山防災情報	市から発令される避難情報等
噴火速報	・緊急安全確保
噴火警戒レベル5	・一般住民(自家用車有り)に対する避難指示
噴火警戒レベル4	・一般住民(自家用車無し)、避難行動要支援者及び避難支援者に対する避難指示 ・一般住民(自家用車有り)に対する避難準備の呼びかけ
解説情報(臨時)	・観光客等に対する避難(帰宅)指示 ・一般住民(自家用車無し)、避難行動要支援者及び避難支援者に対する避難準備の呼びかけ
解説情報	・一般住民、避難行動要支援者及び観光客等に対し火山噴火に関する注意喚起
見通し情報	・一般住民、避難行動要支援者及び観光客等に対し地震に関する注意喚起

※鉄道は噴火警戒レベル4発表時点から運転中止に向かい、噴火警戒レベル5に達すると完全に運転中止となります。

(震度5弱以上の地震発生をはじめ、噴火警戒レベル4の内に運転中止となる可能性もあります。)

火山災害時の広域避難

● 広域避難

噴火の影響範囲が広域な場合、避難者数が伊東市内の指定避難所の受入可能人数を超えてしまうため、市内での避難が困難となることから、下表の割当てに従い伊東市外への広域避難を行います。

・避難経路所の設置

自家用車で避難される方に避難先市町の土地勘がないことを想定し、スムーズな避難所への誘導を目的とした「避難経路所」を設置します。避難経路所では、避難所についての案内を受けることができる他、避難経路所に自家用車を駐車し、専用バスにより避難所に移動する場合があります。避難経路所にいる職員の指示に従ってください。

● 避難対象地区別の避難先及び避難経路所

避難対象地区	避難先 (受入先市町)	避難経路所	所在地	鉄道駅
宇佐美	熱海市	姫の沢スポーツ広場駐車場	熱海市伊豆山1164-1	熱海駅 (JR伊東線)
	伊豆の国市	旧スポーツワールド	伊豆の国市南江間2176-1	伊豆長岡駅 (伊豆箱根鉄道駿豆線)
湯川	函南町	かなみスポーツ公園	田方群函南町平井1592-6	函南駅 (JR東海道本線)
松原	長泉町	長泉町健康づくりセンター	駿東群長泉町納米里549	三島駅 北口 (JR東海道本線)
玖須美	沼津市	愛鷹広域公園 (市有地駐車場)	沼津市足高202	沼津駅 (JR東海道本線)
川奈				
新井	伊豆市	無し(狩野ドームに直接避難)	伊豆市青羽根89	修善寺駅 (伊豆箱根鉄道駿豆線)
岡	富士市	富士川緑地公園	富士市五貫島750	富士駅 (JR東海道本線)
		富士総合運動公園	富士市中野671	
鎌田	三島市	南二日町広場	三島市南二日町24-5	三島駅 南口 (JR東海道本線)
吉田 (イトーピアー碧A地区を除く)	東伊豆町	町立体育センター	賀茂群東伊豆町稲取3348-19	伊豆稲取駅 (伊豆急行線)
	河津町	河津バガテル公園第2駐車場	賀茂群河津町峰1073	河津駅 (伊豆急行線)
荻 (辰新田及び 城ノ木戸地区を除く)	下田市	道の駅「開国下田みなと」	下田市外ヶ岡1-1	伊豆急下田駅 (伊豆急行線)
富戸 (三の原地区のみ)	(伊東市内)	無し(富戸小学校に直接避難)	伊東市富戸1203-1	-

宇佐美区、岡区、吉田区については、お住まいの地域(町内)によって避難先や避難経路所が異なりますので、以下の表をご確認ください。

避難対象地区	分割後の 避難対象地区	避難先 (受入先市町)	含まれる町内
宇佐美	宇佐美a	熱海市	初津、八幡、城宿、留田、白波台、南熱海グリーンヒル
	宇佐美b	伊豆の国市	桑原、山田、阿原田、峰、中里、塩木道、り山峡、海峰苑、みのりの村、巢雲台、天乙平、千年松別荘
岡	岡a	富士市 (富士川緑地公園)	岡広町、寿町、宝町、幸町、桜木町、弥生町、末広町、広野、竹の台、音無町、湯田町、瓶山、馬場町、大原1丁目(住所が住居表示の地区)
	岡b	富士市 (富士総合運動公園)	岡(住所が番地表示の地区)
吉田	吉田a	東伊豆町	新町、一碧湖町、サザンクロス、小室山、イトーピアー碧B地区、五毛平
	吉田b	河津町	登町、仲町、四軒町、伝馬町

● 広域避難の際の避難方法

区 分	避難方法
一般住民 伊東市内にお住まいの方	車を利用できる 自家用車(自家用車の乗合いを含む)で避難経路所に向かい、避難経路所で案内された避難所まで自家用車又は専用バスで移動
	車を利用できない 避難開始駅(伊東駅、宇佐美駅又は伊豆高原駅)まで公共交通機関等で移動し、受入先市町の指定する駅まで鉄道で移動した後、避難所行きの専用バスに乗り
避難行動 要支援者 障がい者、高齢者、 外国人、妊産婦等 自ら避難することが困難 で支援を必要とする方	車を利用できる 避難支援者の自家用車(避難支援者が自家用車有りの場合)で避難経路所に向かい、避難経路所で案内された避難所まで自家用車又は専用バスで移動
	車を利用できない 避難支援者と共に避難開始駅(伊東駅、宇佐美駅又は伊豆高原駅)まで公共交通機関等で移動し、受入先市町の指定する駅まで鉄道で移動した後、避難所行きの専用バスに乗り
観光客等 伊東市外からお越しの方	車を利用できる 自家用車(レンタカー、観光バス等の自動車を含む)で噴火影響範囲外に出る
	車を利用できない 公共交通機関等で噴火影響範囲外に出る

鉄道は噴火警戒レベル4で運転中止となる可能性があるため、なるべく隣近所の方と乗合せによる避難を検討してください。

● 警戒区域の設定について

● 警戒区域の設定と対応

住民等が避難した後の避難対象地区を災害対策基本法第63条第1項に基づき警戒区域に設定し、県、熱海市、伊豆市、各警察署、各路線の道路管理者等と協力し、警戒区域の設定に伴う立入規制等を実施します。

● 避難後の注意事項

避難指示の発令後に警戒区域が設定されると、警戒区域内への立入りが規制されるため、**自宅に留まることが出来なくなります。**

伊豆東部火山群・伊東市広域避難計画の本編は、伊東市ホームページから確認できます。

伊東市ホームページ
伊豆東部火山群・伊東市広域避難計画について▶



地域防災

自助・共助・公助

災害による被害を最小限にするには、**自助・共助・公助**の連携が必要です。



自助「自分や家族で出来る防災活動」

自分・家族

家族会議を行う 家族内の役割分担、連絡方法（災害用伝言ダイヤル171等）や避難場所（集合場所）の確認など	自宅の安全対策 建物の耐震化、家具の転倒防止など	1週間分以上の飲料水や食料、生活必需品の備蓄 普段の生活の中での準備を！持ち出し品と合わせて（p.55～56参照）	地域の防災点検 公園・広場等の位置や危険箇所、避難路などの確認
--	--	---	---

共助「隣近所や地域での防災活動」

地域・自主防災会・自治会

自主防災組織の強化 訓練への参加・連携・協力体制の確認	消防団活動への参加 消防団への積極的な入団	避難について支援が必要な方への配慮 支援が必要な方の把握、支援体制づくり	避難所運営への協力 物資などの配布、生活環境を良好に保つよう協力
---	-------------------------------------	--	--

公助「市や防災関係機関の防災活動」

市・防災関係機関等

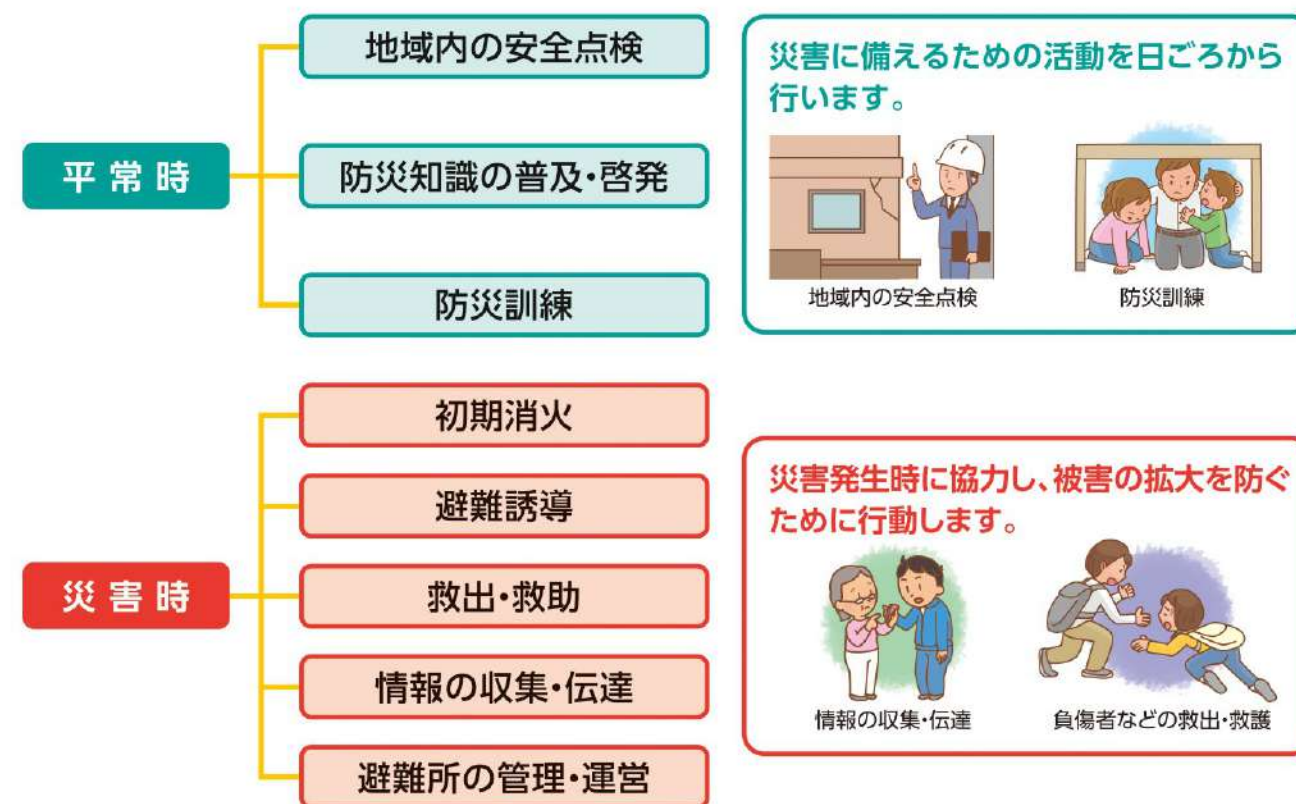
- 防災関係機関の災害対策などを定めた地域防災計画の作成
- 避難場所・避難所の指定
- 公共施設の耐震化
- 防災関連施設（同報無線、備蓄倉庫など）の整備
- 救出・救助活動
- 電気、水道などのライフラインの応急対策
- 自助・共助の取組みへの支援
- 物資の備蓄及び資機材の整備

自主防災組織や消防団の地域防災活動に参加しましょう

災害が発生したとき、交通網の寸断、同時多発火災などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。地域住民が自発的に救出・救助活動をして被害の拡大を防ぎ、その後の復興にも大きな力を発揮します。また、災害発生後の避難生活が長引く場合にも、地域住民が助け合って、さまざまな困難を乗り越えなければなりません。

自主防災組織とは、地域の人々が自発的に防災活動を行う組織です。「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで積極的に自主防災活動に参加し、災害に強いまちづくりを進め「地域防災・減災力」を向上させましょう。

消防団は、消防署と連携して、火災を始めとした様々な災害への対応や訓練、予防啓発活動などを行う消防組織法に基づいた消防組織です。消防防災活動のリーダーとして地域に密着し、住民の安全・安心を守っています。（消防団の活動についてはp.51を参照してください）



要配慮者への思いやりを

高齢者、傷病者、障がい者、妊産婦、乳幼児、外国人、旅行者などは避難に時間がかかったり、大事な情報を入手することができない場合があります。災害時にはそのような要配慮者に気を配り、地域で協力しあって支援しましょう。

高齢者・傷病者 ●正しい情報を伝える ●不安を取り除くように声をかける ●手を貸したり、おぶって避難	障がい者 ●介助の手助けを ●耳が不自由な方には、筆談やスマートフォンなどを活用する	妊産婦・乳幼児 ●手荷物を待つ等の手助けを ●子どもがはぐれたり、ケガをしないよう気にかける	外国人・旅行者 ●正しい情報を伝える ●言葉が通じない場合は、翻訳アプリなどを利用する
--	---	---	--

消防団活動

●地域防災の担い手 消防団員募集!!

伊東市消防団は市内17の分団で組織され、「自分たちのまちは自分たちで守る!」を合言葉に普段は自営業や会社員などの仕事をしながら、各種訓練や火災・水害時などに消火・警戒活動をしています。

伊東市では、年間を通して様々な消防団活動に参加する【基本消防団員】のほかに、特定の活動・役割を担う【機能別消防団員】を募集しています。



🔥 基本消防団員

- 対象
本市に居住する18歳以上の人
- 主な活動内容
火災現場での消火活動、各種訓練(放水訓練、規律訓練)、夜警(火災予防の啓発活動)・出初式などの消防団行事への参加

🔥 機能別消防団員

- 分団の活動支援を目的とした団員
 - ・ 火災・災害発生時の消防団活動の補助や特定の消防団活動(夜警など)の支援
 - ・ 基本消防団員又は消防職員として、5年以上の勤務経験を有する人が対象となります。
- ラッパ隊活動のみに参加する団員
 - ・ ラッパ隊活動(練習・出初式等消防団行事への参加など)
 - ・ 18歳以上45歳未満の人(消防団員等の経験不要、女性可)が対象となります。



☆待遇

- ・ 年額報酬(基本消防団員のみ)や出勤報酬が支給されます。また、5年以上勤務すると、退職報償金が支給されます。
- ・ 消防団活動中に負傷した場合は、公務災害補償を受けられます。
- ・ 消防団活動に必要な被服が貸与されます。

🌈 消防団支援制度

伊東市では、地域防災の担い手である消防団員を応援するため、「ありがとう消防団応援事業所」の制度をつくり、本制度への登録を推進しています。本制度に登録いただいた市内事業所では、消防団員本人や家族が受けられるサービスがあります。また、静岡県では、「消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例」が制定され、この適用による県税の特例(軽減措置)があります。

ありがとう消防団応援事業所の制度についてはこちら



伊東市ホームページ▶

県税(事業税)の軽減措置についてはこちら



静岡県ホームページ▶

消防団に関するお問合せは、危機対策課・消防情報係へご連絡ください。
☎0557-36-3222



災害時のライフハック

ライフハックとは、仕事や日常生活で役立つちょっとしたアイデアやテクニックのことを表す言葉です。

災害時には、新たに物品を手に入れる事が困難になります。身近にある物を工夫して使うことで、本来の用途とは別の目的で使用する事ができたり、物品や生活用水の消費を抑えることができるかもしれません。

ここでは5つの例を紹介します。普段の生活の中で生まれるライフハックに、災害時に活かせるものがないか考えながら見てみましょう。



💡 身近なモノ活用術1

💡 水入りペットボトルと懐中電灯で簡易ランタン

懐中電灯の上に水を入れたペットボトルを乗せるだけで、光が乱反射して周りを照らすことができますよ。

懐中電灯が小さい場合はコップに入れてやってみてください。火を使わないので安全です。



💡 身近なモノ活用術2

💡 ツナ缶の油で簡易ランタン

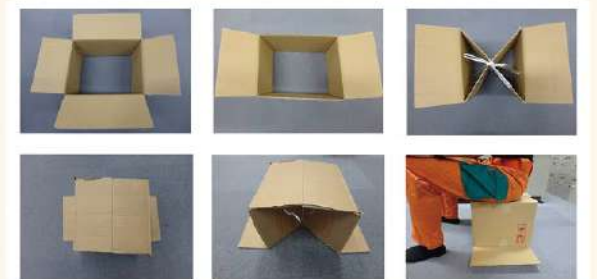
ツナ缶の油を利用したランプです。缶に穴を開け、芯を差し込みます。芯には綿のひも等が良いですが、コーヒーのフィルタをこよりにして作ることも可能です。2時間位もちます。もちろん中身も食べました。(油が減ってヘルシーかも)



💡 身近なモノ活用術3

💡 段ボールを切り貼りして椅子を作る

ダンボールで「椅子」を作ってみましょう。避難所となる体育館等は、床が圧倒的に冷たい場所が多く、さらには直接床に座ると埃を多く吸い込むことにもなります。ひと工夫で快適になります。



💡 身近なモノ活用術4

💡 リュックサックの内側にビニール袋を2枚重ねて給水リュック

水を運ぶ場合、ビニール袋だけでは破けてしまいがちですが、空のリュックサックに大きめのゴミ袋を二重にして入れれば丈夫になります。内側の袋に水を注ぎ縛ります。外側も縛り、後は背負うだけです。かなりの量が入り、楽に運べるほか、手も使えて安全です。



💡 身近なモノ活用術5

💡 食品用ラップは様々な場面で活躍します

食器に食品用ラップを巻いて使えば洗いが少なくてできたり、ラップ越しでおにぎりを握れば衛生的で手も汚れなかったりと、断水時に貴重な水の節約になります。また、ラップと芯を合わせることで骨折時の固定に使える等、工夫次第で防災グッズに大変身です。



災害・気象情報の入手方法について

●災害・気象情報(気象、避難、ライフライン等)の入手方法具体例

災害時は様々な情報が錯綜し、混乱を招く場合があります。

大切なのは「最新の正しい情報」を入手し、行動することです。普段からどのような情報がどのようにして入手できるのかを確認し、ご自身に合った情報の入手先を決めておきましょう。

同報無線(サイレン)スピーカー

避難に関する情報をはじめ、災害時に重要となる情報を一斉放送により聞くことができます。

ナビダイヤル

同報無線で放送した内容を、電話で確認できます。屋外スピーカーからの放送を聞き取れなかった際にご活用ください。

TEL 0557-36-2180

エリアメール(NTTドコモ)・緊急速報メール(au・ソフトバンク・楽天モバイル)

特に緊急を要する「緊急地震速報」「津波警報」「避難情報」等が、対象エリアにいる利用者のスマートフォン等に限定して一斉配信され、大音量の通知音とともに受信することができます。

※受信は無料ですが、各種対応機種による設定をお願いします。

伊東市メールマガジン

同報無線(広報いとう)で放送した内容をはじめとする各種行政情報をメールで配信しています。希望する情報カテゴリに登録(複数登録可)することで、情報をスマートフォンやパソコンで受信することができます。

(※登録ができない場合はデジタル政策課 TEL0557-32-1191までご連絡ください)



伊東市公式SNS

メールマガジンと同様の情報に加え、伊東市からののお知らせや各種行事の様子などをLINE、Facebook、Xでご覧になれます。



LINE



Facebook



X

緊急告知ラジオ

FMラジオ波を利用して緊急時に自動起動する機能を備えたラジオ受信機です。

FMいとうなぎさステーション(76.3MHz)の受信できる地域において、避難情報等の重要な情報が発令された際には自動的にラジオが起動し音声を読み上げてくれる他、同報無線の放送内容についても聞くことができます。

緊急告知ラジオは市民・事業所等に向けて2,000円で販売されています(要申込み)。



IKCテレビプッシュサービス

インターネットに接続された「IPボックス」をテレビにつなぐだけで、各種防災情報や生活情報をテレビへプッシュ配信するIKCテレビ・プッシュ「テレビがON!つくしらちゃん」が株式会社伊豆急ケーブルネットワークから提供されています。緊急地震速報、災害気象情報などの各種情報に加え、避難情報や海岸ライブカメラ画像といった、当市と連携した防災情報等を受信することができます。

(月額費用が発生する他、インターネット回線が必要です)



静岡県総合防災アプリ 静岡県防災

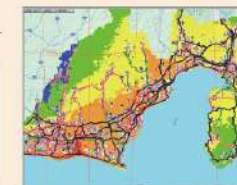
各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、幅広く役立つ機能を備えたスマートフォンアプリが静岡県から提供されています。警報・注意報等の気象情報、避難指示等の災害に関する緊急情報をプッシュ通知で受け取ることができます。



静岡県GIS

静岡県内の災害情報、災害想定等を地図で閲覧できます。

・津波、浸水情報 ・地震震度想定図 ・液状化想定図
・津波災害警戒区域 ・土砂災害警戒区域 ・ため池マップ
他、緊急輸送路、冠水想定箇所など



気象庁ホームページ

全国の天気や防災情報をご覧になれます。

・気象警報、注意報 ・キキクル(土砂災害、浸水害、洪水の危険度分布)
・台風情報(台風) ・レーダー・ナウキャスト(降水、雷、雹等)
・雨雲の動き「高解像度降水ナウキャスト」(雨量情報)など



●災害用伝言ダイヤル 171

災害時には、安否確認、問い合わせなどの電話が急増し、電話がつながりにくい状況が続く時があります。そのような時、「NTT災害用伝言ダイヤル」を使って、家族や知人への伝言を録音したり、相手方の伝言を再生することができます。

- 「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。(右図参照)
- 「災害用伝言ダイヤル」に登録できるのは、被災地内の固定電話、携帯電話、PHS、IP電話です。利用時は固定電話の市外局番を必ず含めてダイヤルしてください。
- 録音された伝言は、被災地の人の電話番号を知っているすべての人が聞くことができます。
- 提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTTで決定し、テレビやラジオ等でお知らせします。

電話で録音

171をダイヤル

録音は1を入力
(暗証番号を利用した録音は3です。)

被災地の方の電話番号の番号を入力
携帯電話等の番号でもご利用いただけます。

続けて1を入力
(ダイヤル式の方はそのままお待ちください。)

メッセージを録音

9で終了

電話で確認

171をダイヤル

再生は2を入力
(暗証番号を利用した録音は4です。)

被災地の方の電話番号の番号を入力
携帯電話等の番号でもご利用いただけます。

1で伝言の再生開始
(ダイヤル式の方はそのままお待ちください。)

繰り返し再生は8
次の伝言の再生は9

再生後のメッセージの録音は3

災害豆知識

SNSで流れるフェイクニュースやデマに注意しよう。

災害時にSNSや動画配信サービスで流れる情報の中には、役に立つ情報がある一方で、正しくない情報も多くあり、その中には、騒ぎを起こすことが目的で発信された悪意ある情報もあることを覚えておかななくてはなりません。

強く関心を引くような情報を目にした際は、発信者を確認し、冷静にその情報の真偽を考えるようにしましょう。



非常持出品について

● 備蓄品 (一週間分の備蓄を心がけましょう)

いざという時のために下記リストを参考に準備しましょう。また、備蓄品の飲食物、電池、医薬品などの消耗品は保存期間に注意しましょう。

飲料水・生活用水

- ☐ 1週間分の飲料水の備蓄 (1人1日3リットル)
- ☐ 生活用水 ☐ 水筒



コンロ・燃料

- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料



食料品など

- ☐ 1週間分の食料の備蓄
- ☐ レトルト食品
- ☐ 缶詰 ☐ 缶切り
- ☐ 栄養補助食品
- ☐ インスタント食品



医薬品

- ☐ 救急用品 (消毒液、傷薬、ガーゼ、包帯、ばんそうこう)
- ☐ 常備薬 ☐ カット綿
- ☐ はさみ ☐ ピンセット
- ☐ 使い捨てカイロ ☐ 体温計



情報機器

- ☐ 携帯電話・充電器
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ ポータブルラジオ



灯り (停電対策)

- ☐ 懐中電灯 (複数備えておく)
- ☐ 電池・バッテリー



生活用品

- ☐ 毛布 ☐ タオル ☐ 寝袋
- ☐ マスク ☐ 洗面用具 ☐ 衣類
- ☐ 簡易食器 ☐ 鍋 ☐ やかん
- ☐ 軍手 ☐ バケツ ☐ 携帯トイレ
- ☐ トイレットペーパー ☐ 使い捨てカイロ



その他

- ☐ ビニールシート
- ☐ 新聞紙 ☐ ろうそく
- ☐ ロープ ☐ ガムテープ
- ☐ ポリタンク ☐ 笛
- ☐ 筆記用具



● ローリングストック法の実践

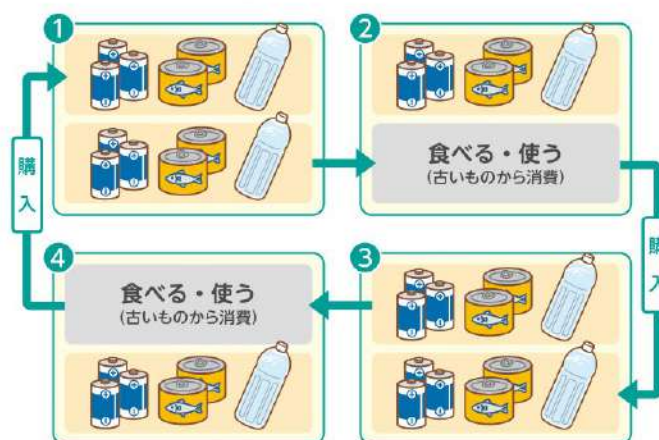
ローリングストック法とは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることが目的です。

ポイント① 古いものから使う

備蓄する食料が古くなってしまわないよう、必ず一番古いものから使うようにしましょう。新しいものを奥に配置、手前の古いものから使っていく、というように、備蓄方法のルールを決めて上手に循環させることが大切です。

ポイント② 使った分は必ず補充する

ストックしているものはいつ食べても構いませんが、消費した分は必ず買い足すようにしましょう。補充を怠ったタイミングで災害が来る可能性もあります。消費した分の補充は必ず直後に行いましょう。



● 非常持ち出し品 (すぐに持ち出せるように用意する物品)

自宅を離れて避難する際に、まず持ち出すべきものです。防災バックやリュックに入れて持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

貴重品

- ☐ 現金 ☐ キャッシュカード
- ☐ 預金通帳 ☐ 印鑑
- ☐ 免許証 ☐ 健康保険証
- ☐ マイナンバーカード
- ※盗難に注意しましょう



応急医薬品

- ☐ お薬手帳
- ☐ 持病薬 ☐ 消毒薬
- ☐ 常備薬 (風邪薬・傷薬など)
- ☐ ばんそうこう ☐ 包帯
- ☐ マスク ☐ 除菌シート ☐ 体温計



非常食

- ☐ 飲料水 (ペットボトル)
- ☐ 栄養補助食品
- ☐ 菓子類



衣類

- ☐ 防寒着
- ☐ 下着
- ☐ 運動靴



生活用品

- ☐ 雨具 ☐ ティッシュ (ウェット)
- ☐ タオル ☐ 軍手
- ☐ 帽子又は防災ずきん
- ☐ ライター ☐ ビニール袋 ☐ 生理用品
- ☐ ラップフィルム ☐ 洗面用具 ☐ 歯ブラシ



その他

- ☐ 携帯ラジオ ☐ 携帯電話
- ☐ 充電器 ☐ 懐中電灯
- ☐ ホイッスル ☐ 電池
- ☐ 筆記用具 ☐ メガネ
- ☐ 思い出の品



● 被災者個々で必要になるもの

家族構成によっては、以上の物品以外にも必要になるものが出てくる場合があります。ご自身・家族の状態によって、追加で必要になる物品を選定しましょう。

赤ちゃんがいる場合

- ☐ ミルク・ほ乳びん
- ☐ 乳幼児用の薬 ☐ お尻ふき
- ☐ 離乳食・食器 ☐ 消毒薬
- ☐ 帽子・防寒着 ☐ 紙おむつ
- ☐ バスタオル ☐ おんぶひも
- ☐ 母子健康手帳 ☐ 衣類 (着替え)



介護を必要とする方がいる場合

- ☐ おかゆなどの食料品 (介護食)
- ☐ 障がい者手帳・介護保険証など
- ☐ 紙おむつ ☐ 介護用品
- ☐ 帽子・防寒着 ☐ 衣類 (着替え)
- ☐ お尻ふき ☐ 非常薬
- ※介護の状態に応じて必要なものを備えましょう。



災害豆知識

何を用意するか迷ったら

非常持ち出し品を用意するとき、何を用意するか迷った結果、面倒になりいつまでも用意することができないという方もいるようです。

このように少し考えすぎてしまう人は「これでなければ絶対ダメ!」というような固定概念を捨てて、例えば堅苦しい避難持出袋はやめて、好きなデザインのリュックに詰めてみるとか、懐中電灯や携帯の充電器などには好きなキャラクターが付いたものを選んでみるとか、まずは気軽に考えてみるのも良いかと思います。

避難所での生活

●災害時に開設される避難所

災害種別によって、開設される避難所は異なります。

●風水害(台風、大雨、土砂災害等)の場合

各地区のコミュニティセンターや公民館等が避難所となります(避難者が多い場合は、小中学校の体育館を使用することもあります)。

風水害の場合は事前予測が可能であることと、比較的短時間の避難となることから、食事や必要な物資は避難者各自で持ち込んでいただきますが、避難生活が長期に及ぶ場合は市の備蓄等から配布します。

●地震・津波等の大規模災害

避難者数に応じて、各小中学校の体育館をはじめとして各コミュニティセンターや公民館で開設され、運営は自主防災会を中心に、避難者全員で役割分担して行います(必要に応じて市職員や災害派遣の補助があります)。

●避難所での生活について

間仕切り

テント、パーティション、段ボール等でプライベートスペースを確保します。

物資

必要なだけ持って行く等、避難所のルールに従いましょう。

受付

外出や困りごと等、必要に応じて声掛けしましょう。

掲示板

避難所生活に重要な情報が掲示されます。1日1回程度は確認しましょう。

●避難所のルールや役割分担について

- 避難所を運営するためには様々な役割分担が必要になりますが、避難者は皆余裕がありません。無理はせず、自分にできることを進んでしましょう。
- 避難所は集団生活です。避難者間でルールを決め、守るよう徹底しましょう。
- 高齢者や乳幼児等、感染症による二次被害が危惧される避難者もいます。感染症対策を十分にしましょう。感染者が確認された場合には部屋を分ける、トイレを別にする等拡大を防ぐための処置が必要になります。

災害用トイレについて

●災害時のトイレ問題

地震・津波等の大規模災害では、ライフライン被害によりトイレが使用できなくなることが想定されます。過去の災害でもトイレの問題は非常に深刻で、生活環境の悪化とそれに起因する体調不良者の続出など、災害関連死の要因にも数えられています。

ライフラインが復旧し、避難所又は自宅のトイレが確実に使用できることが確認できるまでは通常のトイレを使用することなく、以下のような災害用トイレを使うことを徹底しましょう。

●災害時に役立つトイレ

●携帯トイレ

便袋を既存の便器又は段ボール等の簡易組立式便器にセットし、袋を閉じて廃棄するもの。

個人宅での使用に適しているため、各家庭での備蓄をお願いします。



「避難所等におけるトイレ対策の手引き」(兵庫県)より画像引用

●簡易トイレ(ラップ式トイレ)

便座と処理装置が一体になったトイレで、排泄物を凝固剤で固めた後透明フィルムで包み、加熱接着して廃棄する。

主に下水道供用開始区域外の避難所で使用することを想定し、市で備蓄しています。

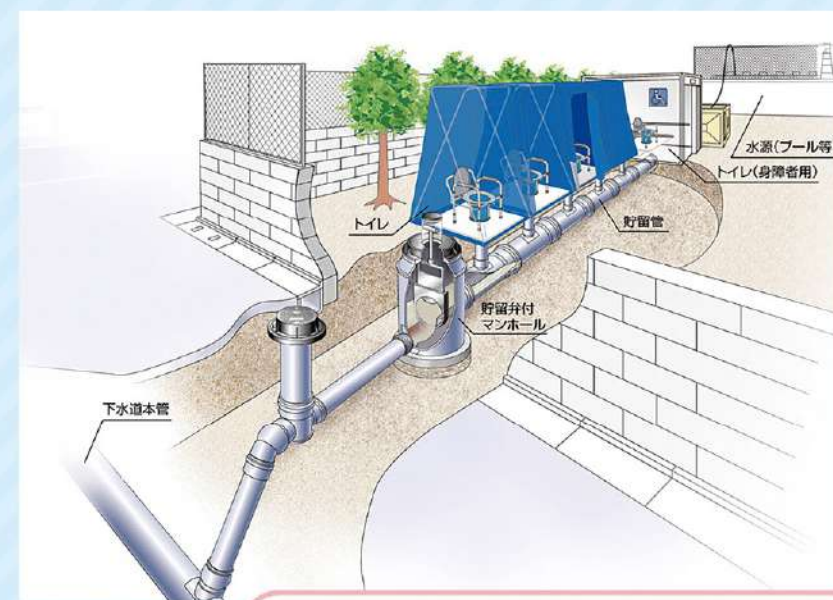


「避難所等におけるトイレ対策の手引き」(兵庫県)より画像引用

●マンホールトイレ

下水道に直結された貯水槽上部のマンホール上にトイレ設備(便器、個室等)を設置し、ある程度貯まった段階でまとめて排水する方式のトイレ。

下水道供用開始区域内の小中学校に整備しています。



「積水化学工業株式会社06874 防災貯留型トイレシステムパンフレット改10-0 2207」
「SEKISUI エスロンタイムズホームページ」より画像引用

災害時のトイレ運用について詳細をまとめた「伊東市災害時トイレマニュアル」はこちら(伊東市ホームページ)



トイレは我慢できません。そして、必ず行きたくなくなるものであり、生活をしていく上で必要不可欠なものです。震災時にはトイレが使えなくなる可能性があるということを前提に、正しい知識を習得し、備蓄しておくことが大切です。

災害時の各種相談・お問合せ

● 罹災証明書について

台風や地震などの自然災害によって家屋等への被害を受けた方に公的支援や保険請求の手続きのため、市から罹災証明書を発行しています。

罹災証明書は、被災した**住家**に居住する世帯に対して、**住家**の被害程度を証明するものです。
国が定める住家被害認定基準に基づき、**市の職員が被害認定調査**を行います。

被災程度一覧

被害の程度	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	一部損壊
住家全体に占める損害割合	50%以上	40%以上 50%未満	30%以上 40%未満	20%以上 30%未満	10%以上 20%未満	10%未満

罹災証明書の申請手続き

- ・ 証明書の対象となる方 — 被災した住家に居住する世帯の世帯主
- ・ 申請ができる方 — 被災した世帯に属する方
- ・ 申請の方法 — 郵送又は窓口(事前に調査の申し込みが必要です)

申請に必要なもの

- ・ 罹災証明書交付申請書 ・ 本人確認書類(運転免許証など)
- ・ 被害の状況がわかる写真(自己判定方式による場合)

※自己判定方式による申請の場合、被害認定調査は行われません。 ▲詳しくは伊東市のウェブサイトをご覧ください



申請窓口・調査の申込

課税課資産税係
TEL 0557-32-1276

証明書の発行に関するお問合せ

社会福祉課福祉総務係
TEL 0557-32-1531

● 被災証明書について

罹災証明書の対象にならない住家以外の建物(店舗・事務所・別荘など)や建物以外(設備・構築物など)について、申請者の申告に基づき被害を受けたことを証明します。申請者ご自身により被害の状況を写真撮影していただく必要があります。

被災証明書の申請手続き

- ・ 申請ができる方 — 物件の所有者等
- ・ 申請の方法 — 郵送又は窓口

申請に必要なもの

- ・ 被災証明書交付申請書 ・ 本人確認書類(運転免許証等)
- ・ 被害の状況がわかる写真

被災証明書の申請窓口

- 建物 ▶ 課税課資産税係
TEL 0557-32-1276
- 建物以外 ▶ 社会福祉課福祉総務係
TEL 0557-32-1531

被害の写真撮影について

- 片付けや修理の前に、被害状況の写真を撮影しておきましょう。
- 罹災証明書等を取得する際や、損害保険金を請求する際に役立ちます。
- ポイントは、建物全体と被害内容の詳細がわかる写真を撮ることです。

● 水道の断水について

災害等により、公営水道(民営水道を除く)において断水した場合は、避難所等に臨時給水所を設けます。

あらかじめ給水容器を備蓄し、給水所へのご持参をお願いします。
なお、民営水道の方は、民営水道管理者にご相談ください。

お問合せ 水道課給水計画係 TEL 0557-32-1852

● 道路・河川の復旧について

伊東市内の公道や河川において、以下のような状況を見つけた場合は、道路管理者又は河川管理者が復旧作業を実施しますので、ご連絡をお願いします。

市道における破損及び倒木等の障害物
河川(準用/普通)や水路の閉塞

建設課土木係

TEL 0557-32-1753

県道における破損及び倒木等の障害物
2級河川の閉塞

熱海土木事務所 伊東支所

TEL 0557-37-2947



なお、私有地内(別荘地内の道路等を含む)の破損や障害物、私有の排水施設の復旧作業等に関しては、該当箇所の所有者又は管理者にご相談ください。

● 災害ごみについて

災害が発生した場合、被害の状況に応じて災害ごみの仮置場の設置や収集方法についてお知らせします。
詳細はメールマガジンやホームページなどでご案内いたしますので、ご確認をお願いします。

災害ごみと
生活ごみは分別!

道路に災害ごみ
を置かない!

災害ごみを自己搬入する場合

- 可燃ごみ ▶ 環境美化センター
- 不燃ごみ ▶ 御石ヶ沢清掃工場・最終処分場
- お問合せ ▶ 環境課 TEL 0557-32-1371

● 高齢者あんしん見守りネットワーク

避難所などで、市章とQRコードがついたシールを身に着けている方がいましたら、認知症等で支援が必要とされている方です。

お困りの様子でしたら、QRコードを読み込むとその方の情報を照会できますので、ご確認の上適切な支援をお願いします。

詳しい事業内容は、下のQRコードのリンク先にて解説しています。



本事業のお問合せ、申込等

高齢者福祉課
TEL 0557-32-1561、1562

東京電力パワーグリッド株式会社からのお知らせ

停電情報につきましては、弊社のホームページまたは、TEPCO公式スマートフォンアプリ「TEPCO速報」にて、停電地域や復旧時間の見込みなどをお知らせしております。

また、弊社はLINE株式会社から提供するコミュニケーションアプリ「LINE」において「東京電力パワーグリッドコンタクトセンター」の公式アカウントを開通しており、停電状況の確認に加え、電線の断線や電線への樹木接触等についてお問い合わせいただけます。

コンタクトセンター：0120-995-007

停電情報に関するURL：<https://teideninfo.tepco.co.jp/>



停電状況の確認や、電気設備のトラブル(異常)チャットでお知らせください



「お客さまに、いち早く“安心”をお届けいたします」



わたしの避難計画の記入方法

わたしの避難計画とは

「わたしの避難計画」とは、実際に災害が発生したとき（発生する前に）、自分や家族、地域の人と速やかに避難ができるよう、あらかじめ避難のタイミングや避難先等を整理しておくものです。

地震・津波の被害をチェック

地震①地震・津波のリスクを確認して記入しましょう

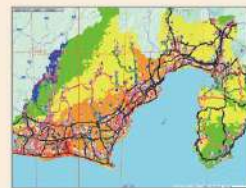
本ガイドブックでは、津波浸水想定区域及び概算の浸水深を確認でき、ウェブサイト「静岡県GIS」(下記QRコード)では、これらの情報に加え、詳細な浸水深、基準水位及び津波到達時間を確認する事ができます。

ご自宅の津波の危険を確認し、「わたしの避難計画」に ☒ チェックしましょう。

静岡県GIS

静岡県内の災害情報、災害想定を地図で閲覧できるウェブサイトです。

- ・津波、浸水情報
- ・地震震度想定図
- ・液状化想定図
- ・津波災害警戒区域
- ・土砂災害警戒区域
- ・ため池マップ
- 他、緊急輸送路、冠水想定箇所などを確認することができます。



地震②地震・津波が発生した時の避難先を確認して記入しましょう

津波浸水想定区域内かどうか「わたしの避難計画」に ☒ チェックしましょう!

津波が	きません	各家庭(各地区)で決められている避難先(集合場所)を「わたしの避難計画」に記入しましょう。
	きます	津波到達時間までに避難できる安全な避難先を決めておき、避難先を「わたしの避難計画」に記入しましょう。

大雨(河川氾濫・土砂災害)の被害をチェック

大雨①ハザードマップでご自宅の危険を確認して記入しましょう

①-①河川氾濫による危険を確認

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋倒壊等氾濫想定区域の情報は、国土交通省が運営する、ウェブサイト「重ねるハザードマップ」で確認することができます。

洪水浸水想定区域(浸水深)

※伊東市の最大の浸水深は6.62メートルです。

洪水浸水想定区域(浸水深)はp.25～29で確認することができます。

①-②土砂災害による危険を確認

土砂災害ハザードマップで土砂災害による危険を確認し「わたしの避難計画」に ☒ チェックしましょう。
土砂災害警戒区域は、p.11～24、または前ページで紹介したウェブサイト「静岡県GIS」で確認できます。

重ねるハザードマップ



各種災害情報を確認できます。

土砂災害特別警戒区域

土石流 急傾斜地

土砂災害警戒区域

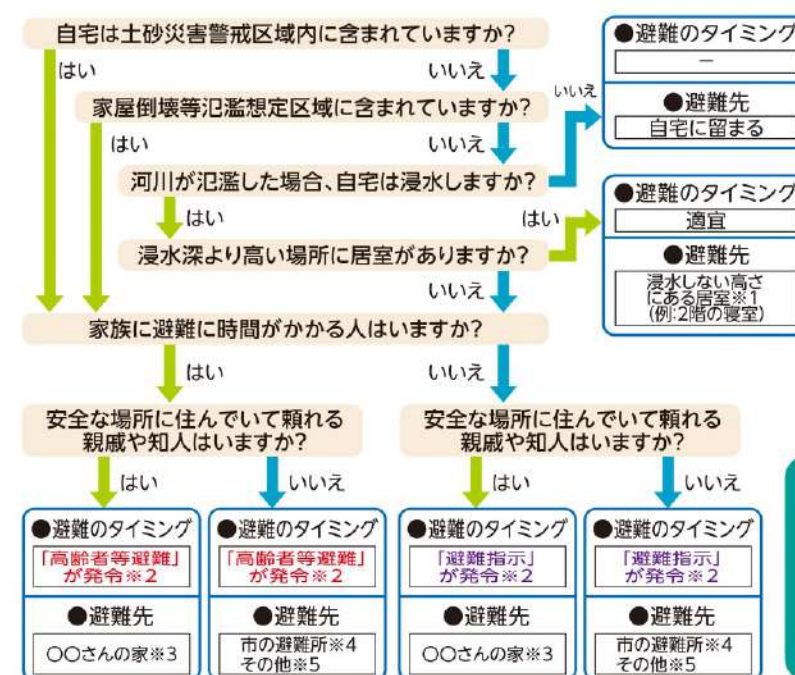
土石流 急傾斜地
地すべり

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)は、土砂災害のおそれがある区域を示しており、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)は、土砂災害により建築物が倒壊し、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれがある区域を示しています。

ご自宅がいずれかの警戒区域の範囲内に入場合は、該当する区域に ☒ チェックしましょう。

大雨②避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認して記入しましょう

②-①下図を参考に、避難先・避難のタイミングを確認



- ※1 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておきましょう。
- ※2 市が発令する避難情報を待たずに危険と感じた場合は、すぐに避難しましょう。
- ※3 親戚や知人の家には、可能であれば事前に避難しましょう。
- ※4 状況によって開設する避難所は異なります。開設する避難所は、同報無線等でお知らせします。また、伊東市HP等でも確認できます。
- ※5 ホテル、旅館等への避難も避難先の選択肢の1つです。

風水害時に市が開設する予定の避難所一覧

- ・宇佐美コミュニティセンター
- ・伊東ふれあいセンター
- ・大原武道場
- ・鎌田会館
- ・生涯学習センター 萩会館
- ・小室コミュニティセンター
- ・吉田区民会館
- ・富戸コミュニティセンター
- ・八幡野コミュニティセンター
- ・生涯学習センター 池会館
- ・竹の台幼稚園(ペット同行)

②-②市内の高齢者等避難や避難指示、河川の情報等

p.53～54の「災害・気象情報の入手方法について」のページを参考に情報収集手段を確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう。